

第5回 熊野川懇談会

会議資料2

# 質問に対する回答 (治水その1)

## 主要ダム位置図



# <回答 1>

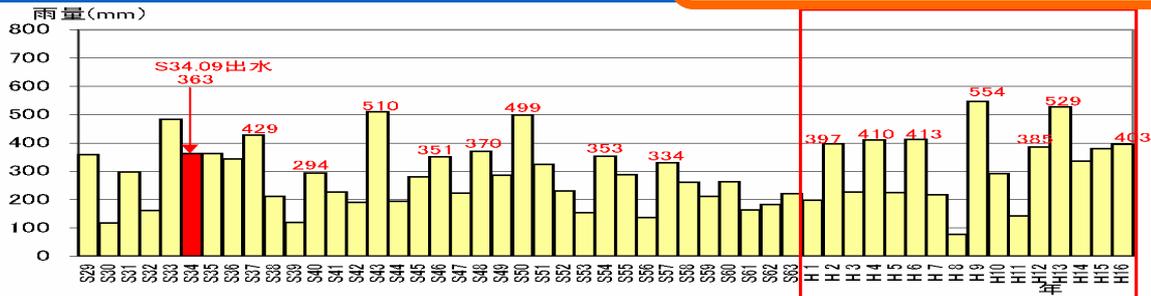
<第4回熊野川懇談会での質問>

- ・洪水特性の図にダムの完成時期を明記して欲しい。

## 熊野川の洪水特性

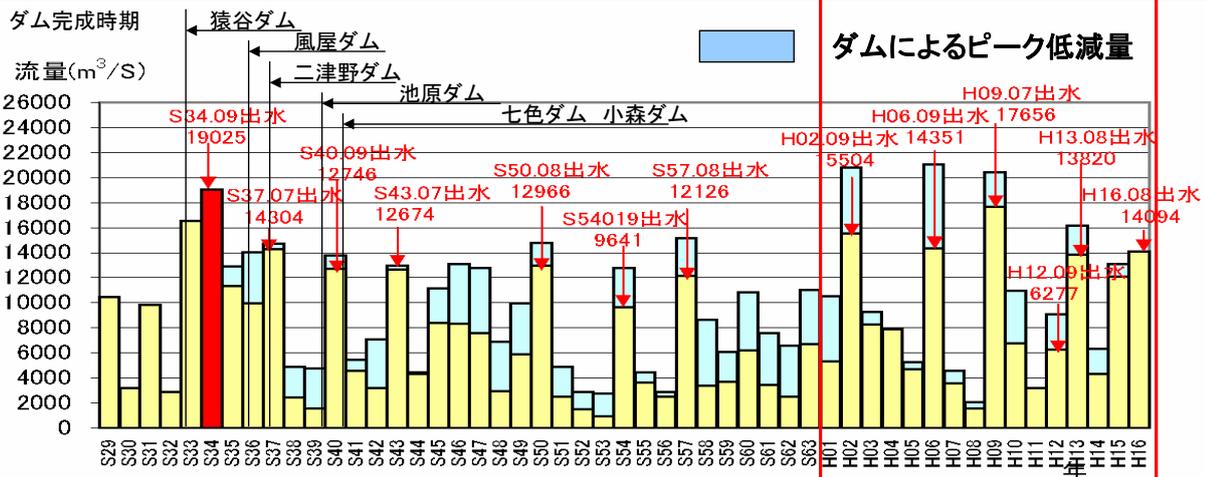
○流域平均48時間雨量(相賀地点上流域)

**注 意**  
一部内容に変更があります。  
詳しくは、第7回検討会の資料をご覧ください。



○流量(相賀地点)

H-Q式による算出



## <回答 2>

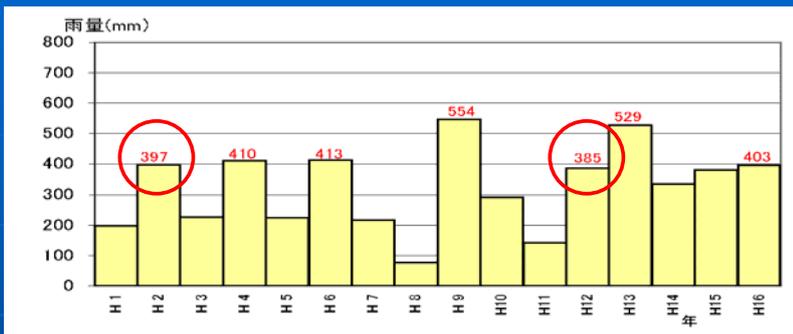
<第4回熊野川懇談会での質問>

- ・熊野川の洪水特性について、説明して欲しい。

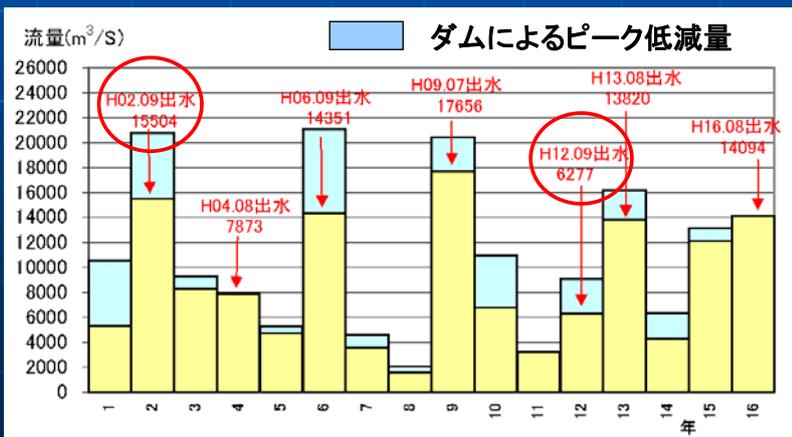
4

## 熊野川の洪水特性

○流域平均48時間雨量(相賀地点上流域)



○流量(相賀地点) H-Q式による算出



### 注 意

一部内容に変更があります。  
詳しくは、第7回検討会の資料  
をご覧ください。

H02.9とH12.9

Aダムによるピーク低減量

B相賀実績流量の相違の検証

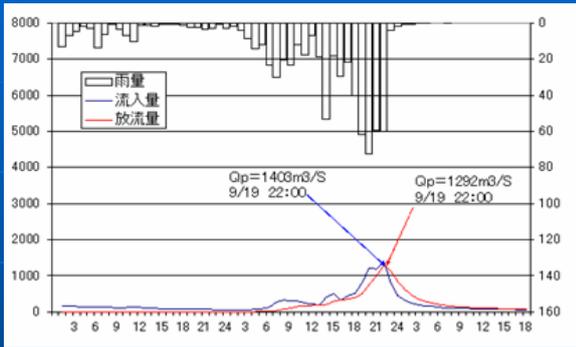
- 1) 降雨の地域分布
- 2) 降雨の時間分布

5

# A.ダムによるピーク低減量(実績値)

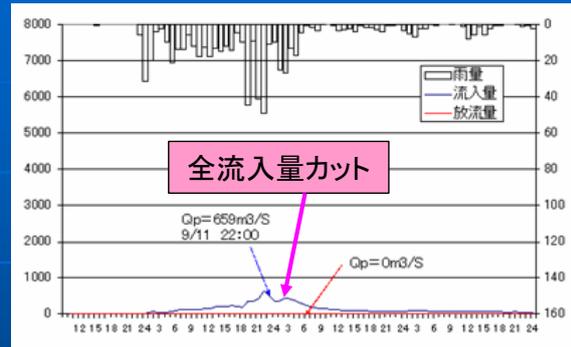
H02.09.19洪水

坂本ダム地点(北山川)

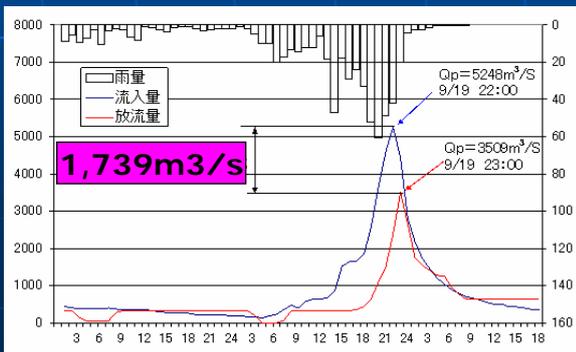


H12.09.10洪水

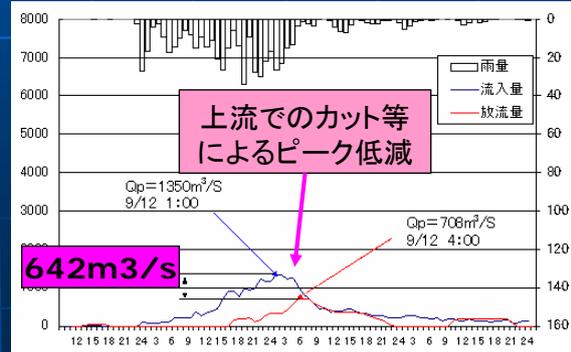
坂本ダム地点(北山川)



池原ダム地点(北山川)



池原ダム地点(北山川)



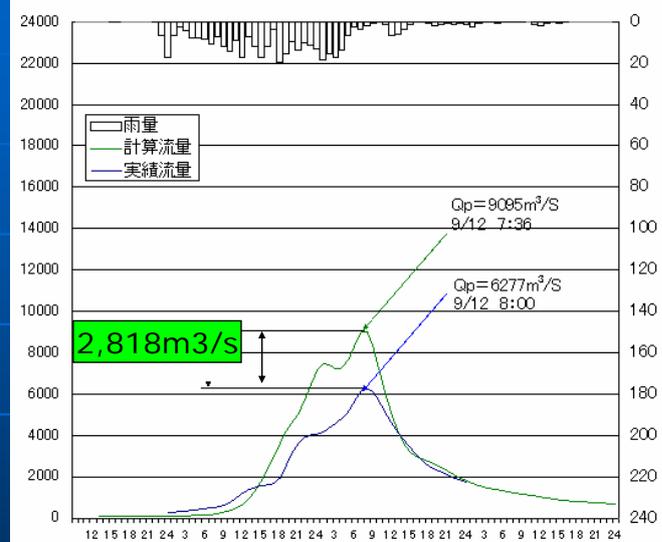
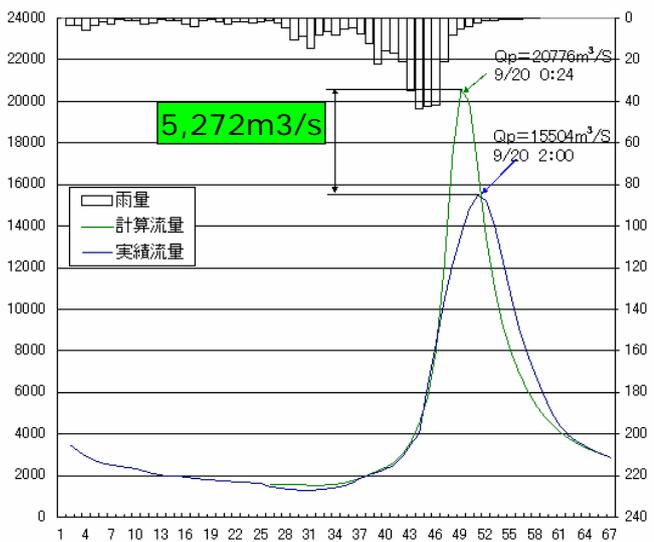
# A.ダムによるピーク低減量(推計値)

計算流量=ダム効果が無い自然河道を再現した場合

H02.09.19洪水

H12.09.10洪水

**注意**  
一部内容に変更があります。  
詳しくは、第7回検討会の資料  
をご覧ください。



【相賀地点】

ダムの低減効果

ダムでのピークカット現象

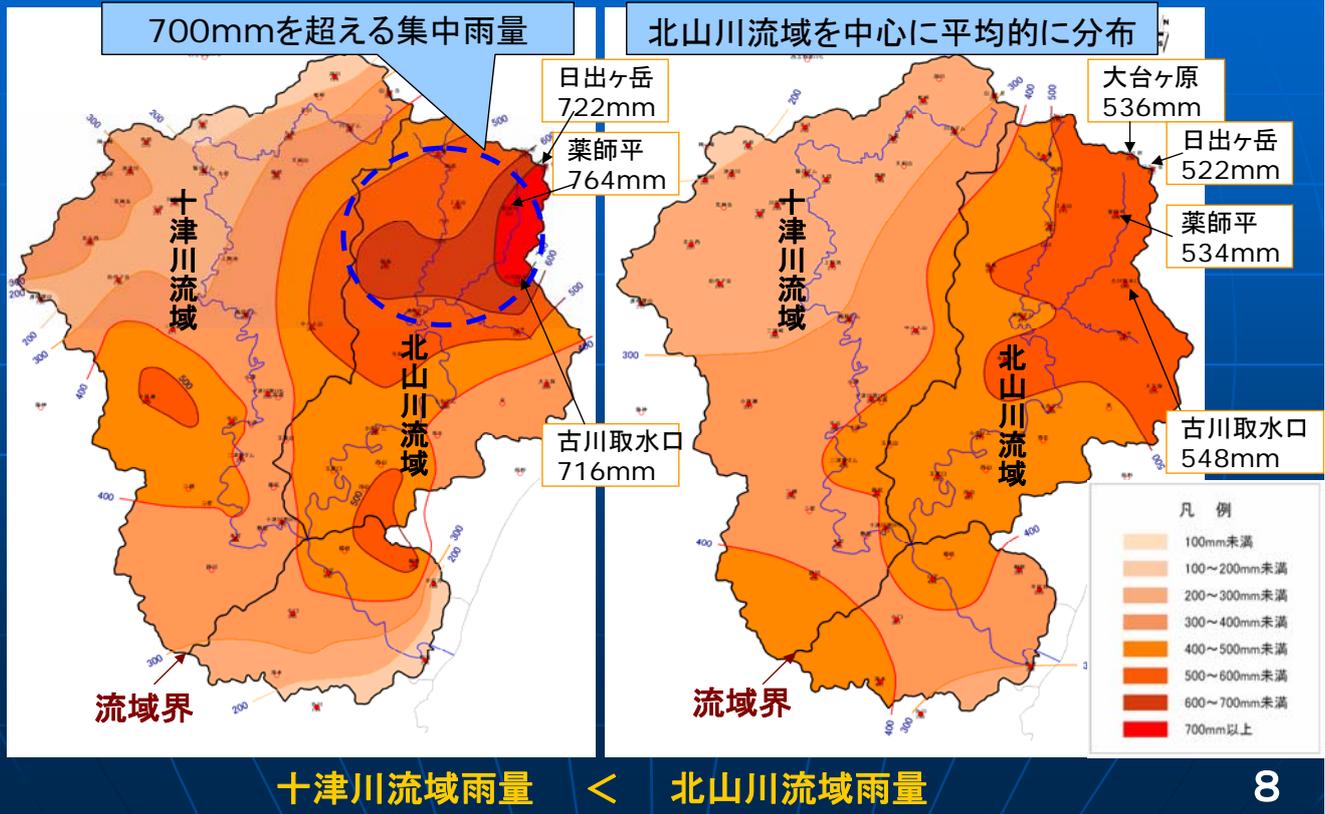
上流域と下流域のピークが重ならない現象

# B.相賀実績流量の相違の検証

1) 降雨の地域分布比較 ○相賀地点上流域48時間雨量

H02.09.19洪水

H12.09.10洪水

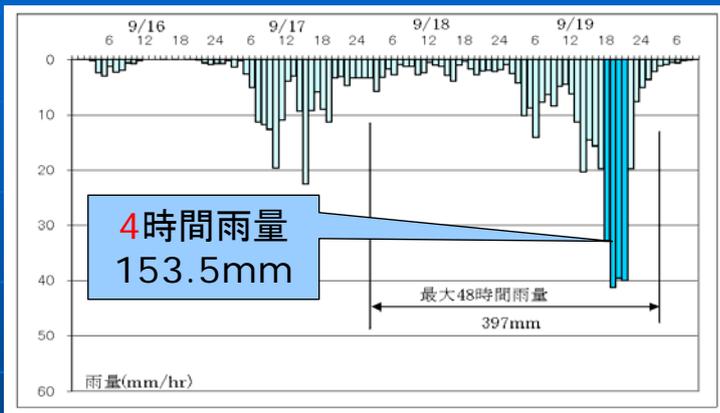


# B.相賀実績流量の相違の検証

2) 降雨の時間分布比較

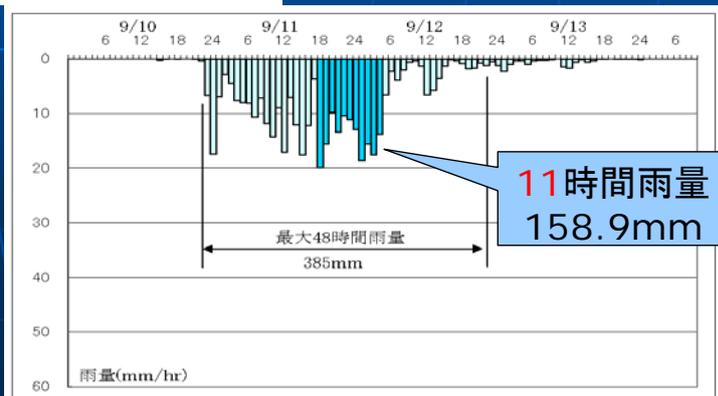
○相賀地点上流域平均雨量

H02.09.19洪水



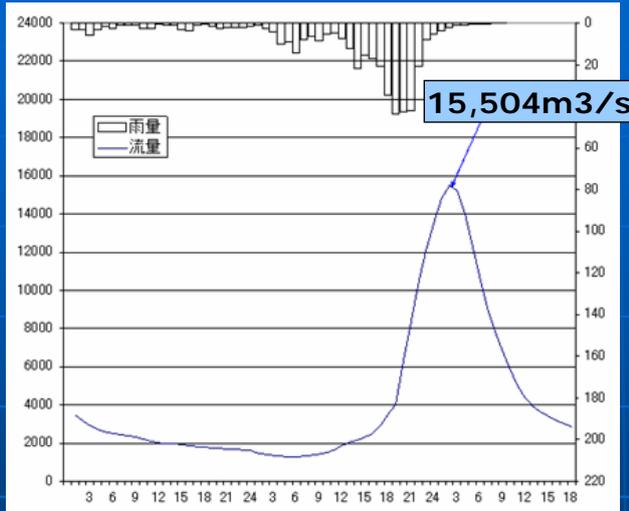
**注意**  
一部内容に変更があります。  
詳しくは、第7回検討会の資料  
をご覧ください。

H12.09.10洪水

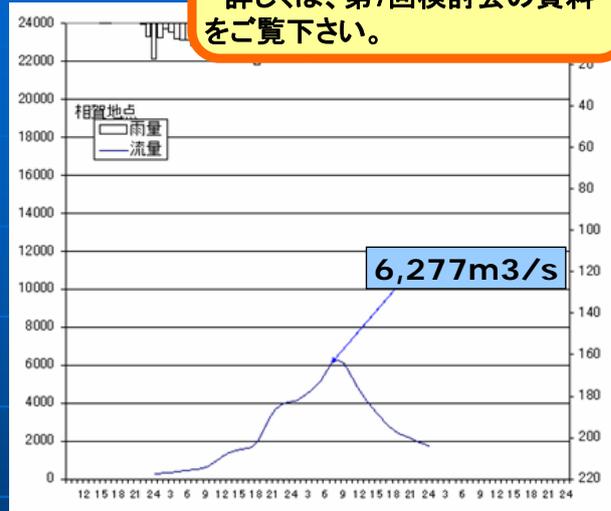


# B.相賀実績流量の相違の検証

H02.09.19洪水



H12.09



**注意**  
一部内容に変更があります。  
詳しくは、第7回検討会の資料  
をご覧ください。

同一の降雨規模

相賀地点での流量規模

降雨の地域分布

降雨の時間分布

種々の現象が生じる

## <回答 3>

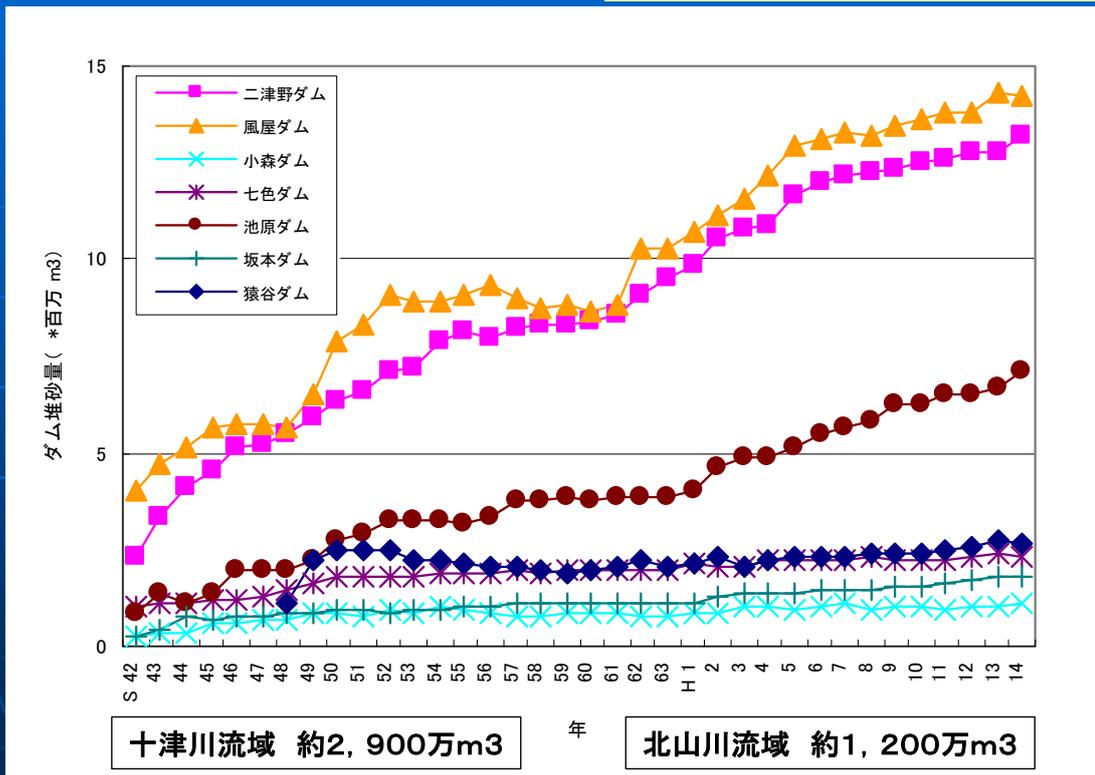
<第4回熊野川懇談会での質問>

・現在のダムの堆砂量は想定以内か教えてほしい。

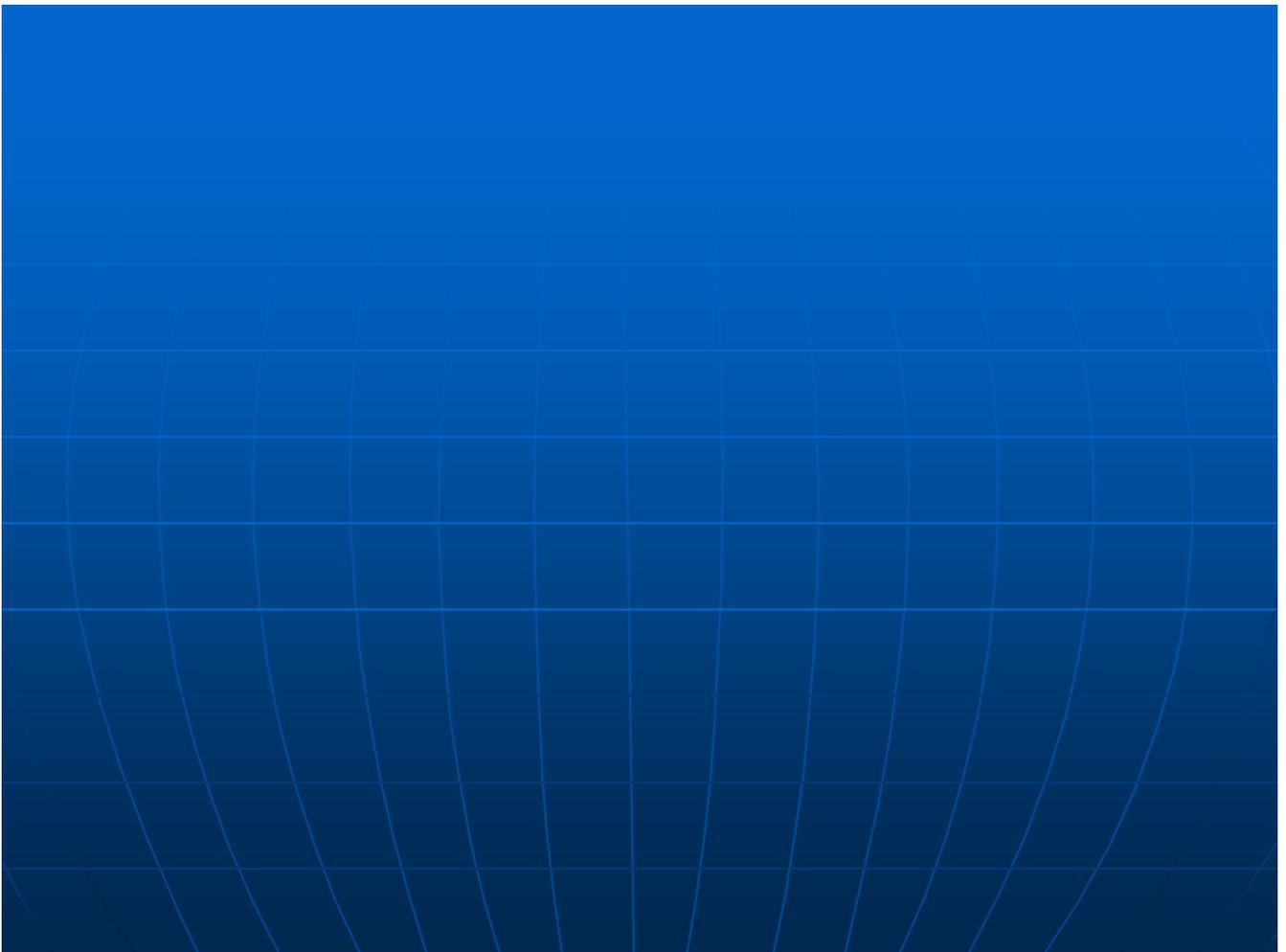
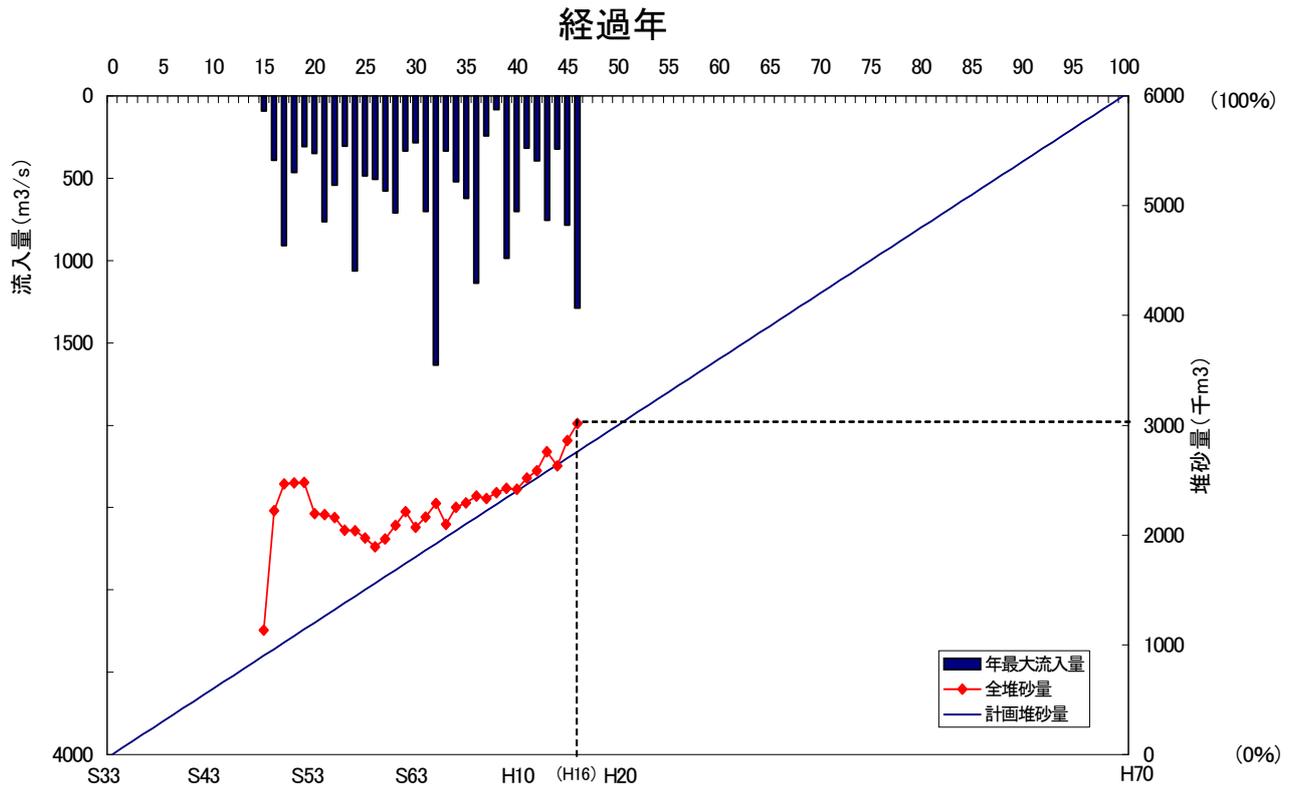
## ダム堆砂量累積値の経年変化

猿谷ダム堆砂量データを追加

熊野川河床調査委員会報告書(H17.3)より



# 猿谷ダム堆砂状況



## <回答 4>

<第4回熊野川懇談会での質問>

- ・地域の温暖化の傾向を調べたいので、流域の長期の降水量のデータはあるか。
- ・長いスパンの傾向、地区の傾向が分かる資料を合わせて提示して欲しい。

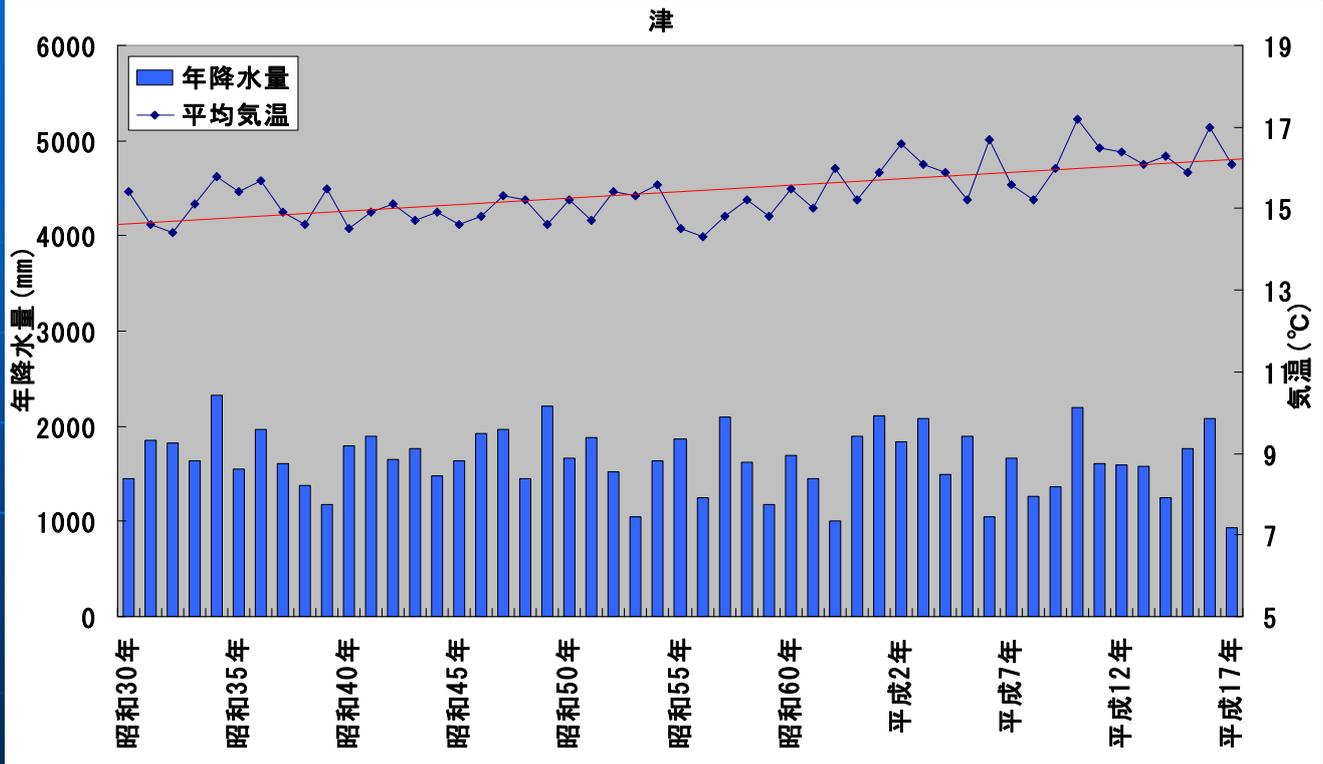
14

### 雨量観測所位置図

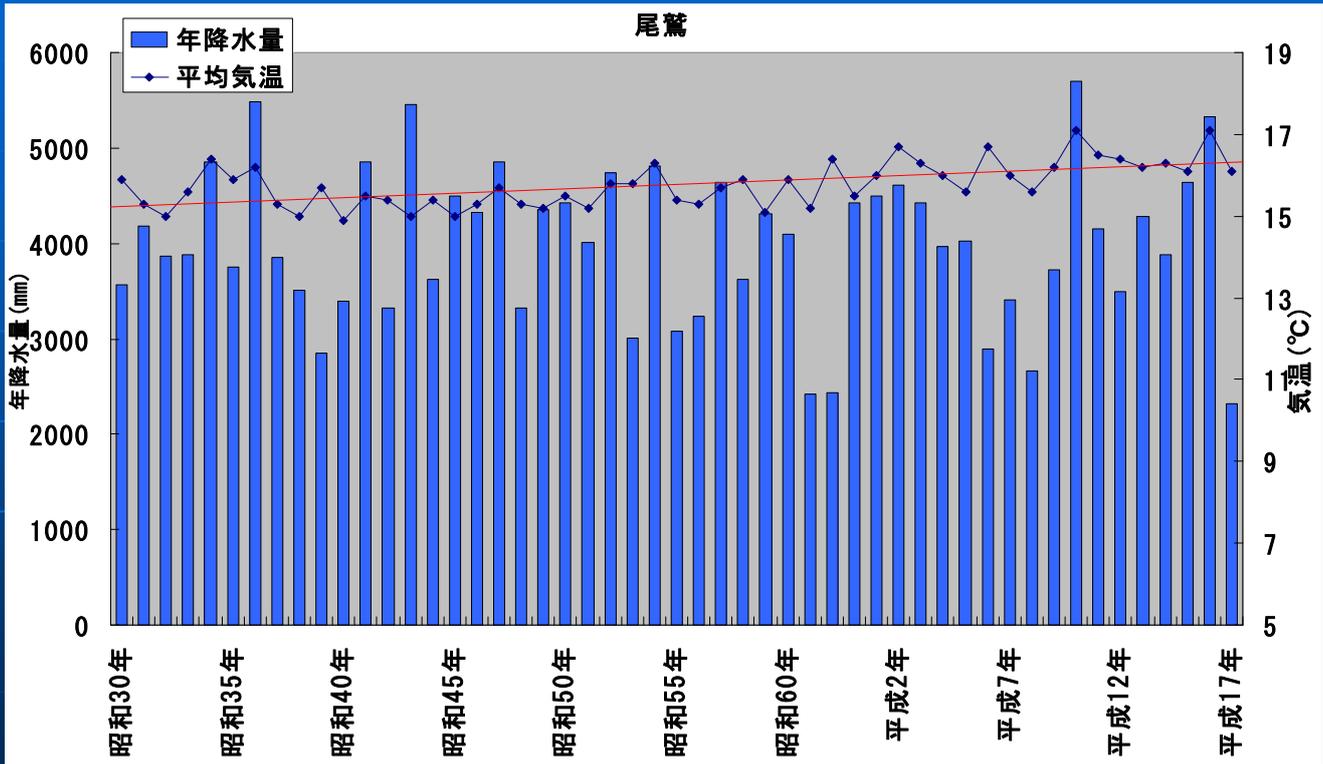


15

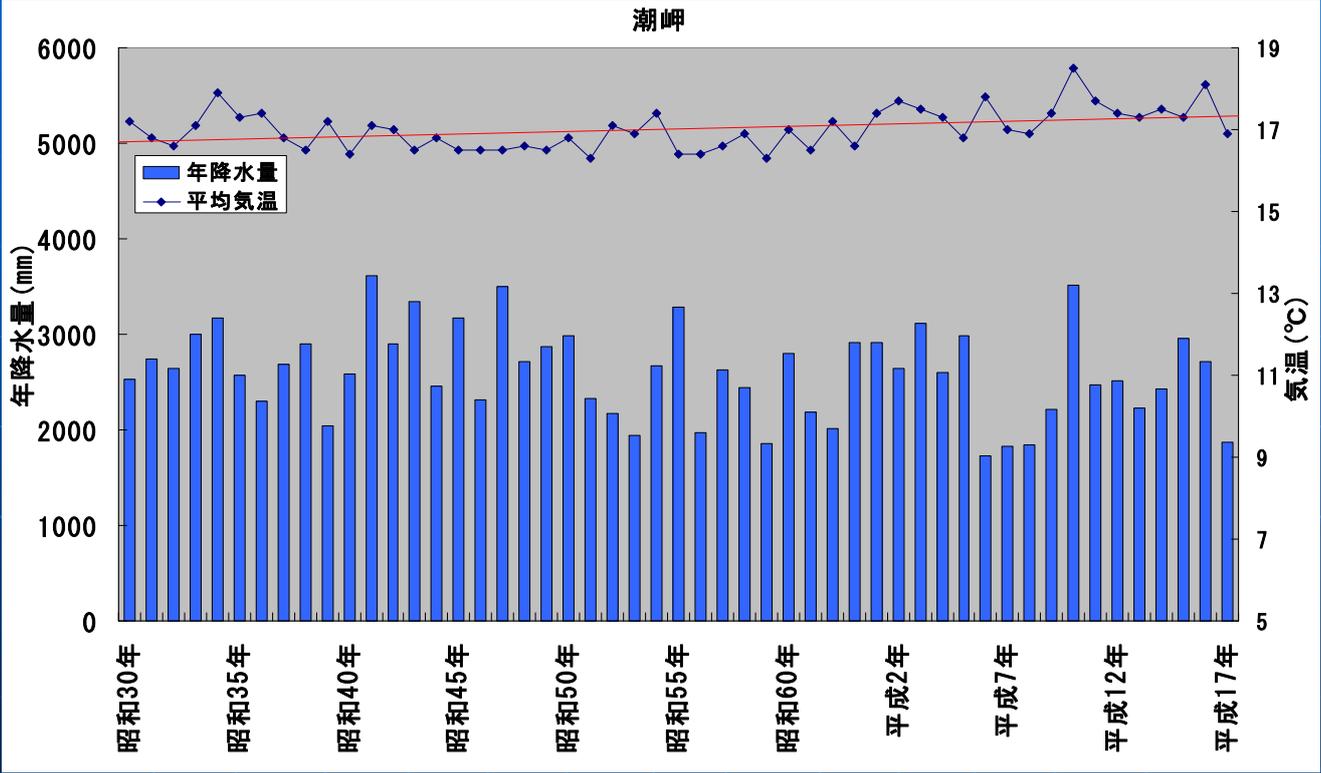
# 地球温暖化による雨量への影響（津）



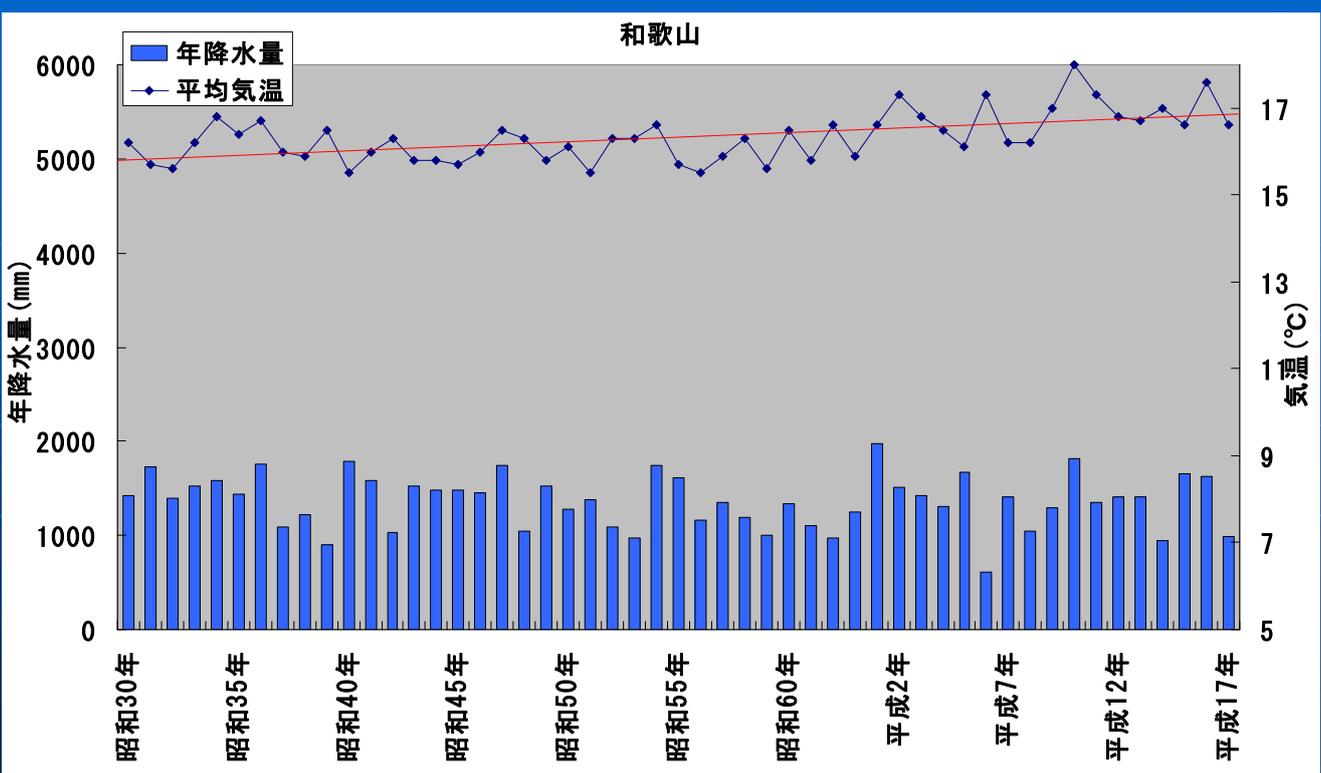
# 地球温暖化による雨量への影響（尾鷲）



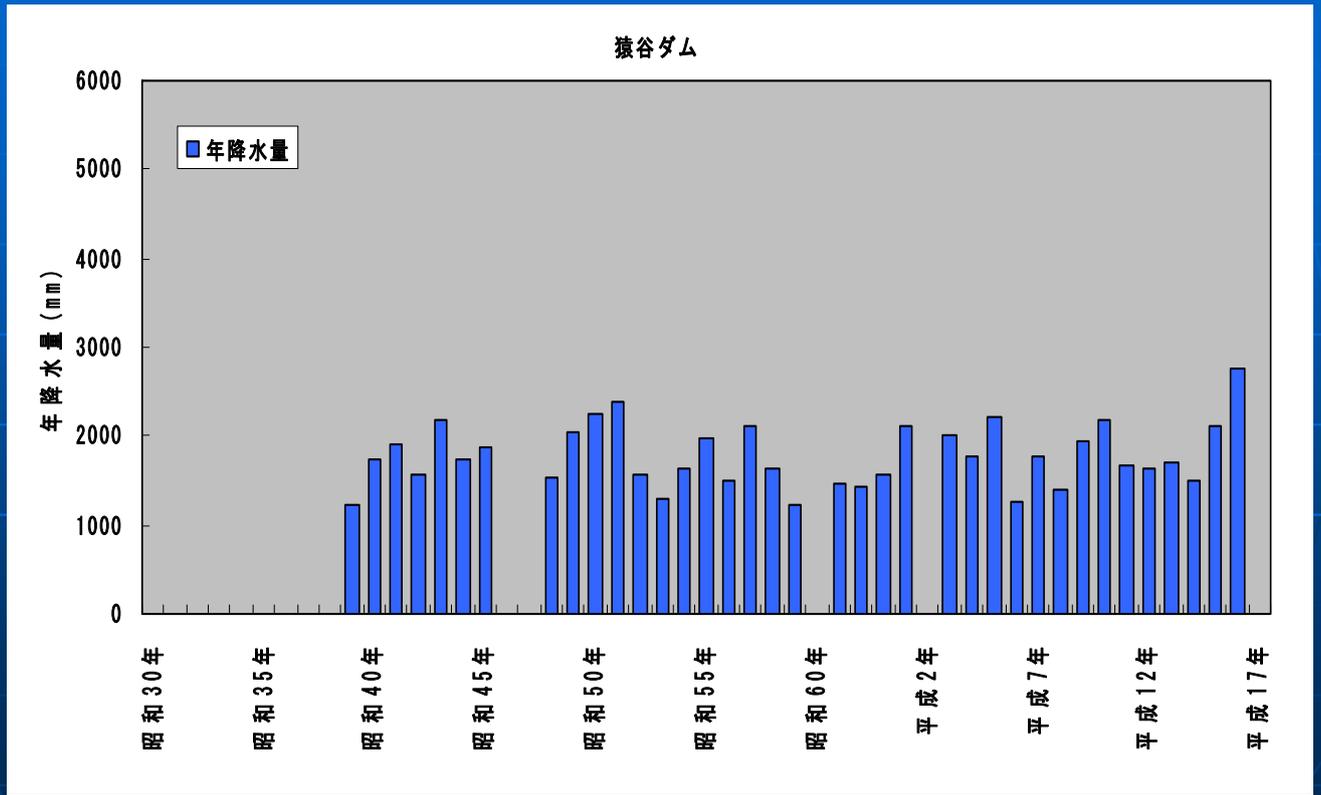
# 地球温暖化による雨量への影響（潮岬）



# 地球温暖化による雨量への影響（和歌山）



# 地球温暖化による雨量への影響（猿谷）



# 地球温暖化による雨量への影響

## 気温

- ・ 上昇傾向が分かる

## 年降水量

- ・ 減少
- ・ 雨量は変化の振幅が大きくなっている

